



# 和歌山大学南紀熊野サテライト2011年度 事業総括書

2012年3月

和歌山大学地域創造支援機構 地域連携・生涯学習センター  
南紀熊野サテライト

## 0、はじめに

### 南紀熊野サテライト、地域課題と向き合う年に

和歌山大学南紀熊野サテライト（旧紀南サテライト）は、2005年の4月に地域型サテライトとして設置されてから6年目を迎えた。2011年度の取り組みでは、9月に発生した台風12号に伴う豪雨災害への対応、学内の研究プロジェクトである「地域を支え、地域に支えられる大学づくりプロジェクト（独創的研究支援プロジェクト）」への課題提案と教員—地域のコーディネート、教育改革プロジェクト、グリーンイノベーション創造プログラムへの参画など、サテライトとして「地域課題にしっかり向き合う」年となった。

本報告書において、2011年度の事業について総括してみたい。

### 2011年度事業の特長・課題

2011年度の南紀熊野サテライト事業の特長・課題を、箇条書きにまとめたい。特長・課題とも絞り込むために、5つに絞っている。

#### 【5つの特長】

##### ①学生教育・研究活動を支援するサテライト ⇒【主に7ページ参照】

→現物教育プロジェクト（古座川、太地、龍神、熊野全域のプロジェクト）へ参画し、地元キーパーソンのコーディネートや報告会を実施。「出張・土曜楽校」の実施や「低炭素講座」を通じた人づくりへも参画しています。

##### ②大学研究と地域課題をクロスさせた「地域学」構築への貢献 ⇒【主に10ページ参照】

→独創的研究支援プロジェクト「生活交通」（田辺・白浜・新宮・有田川・和歌山市）、「ジオツーリズム」（南紀熊野全域）研究へ参画し、学内教員と地域のコーディネート、研究会運営、現場の統括も行っています。

##### ③台風12号災害対策本部分室としての活動 ⇒【主に15ページ参照】

→「災害対策研究支援調査事業」への研究分担（災害ボランティア研究）・協力（デジタルアーカイブ化）、後方支援と学生団体「Forward」の現地活動における後方支援を実施しました。

##### ④自治体・教育委員会・地域との連携協働の推進 ⇒【主に10・13ページ参照】

→自治体の社会教育・生涯学習事業（田辺市まちづくり市民カレッジ、県教委繫パーソン事業の共催化）や中心市街地活性化・地域づくり事業にも実践参画し、地域と大学の橋渡し役を行っています。

##### ⑤広報戦略の拡充 ⇒【主に5ページ、別冊新聞記事集、アブニール参照】

→大学広報誌「アブニール」の首長対談への参画、メディアへの情報提供強化も行っています。

#### 【残されている5つの課題】

- ①地域連携を通じた研究・教育、地域の発展のモデル構築と開発のさらなる推進
- ②サテライトを通じたフィールド（地域）における学生教育・研究支援、体制の構築
- ③地域学に根差した大学院・学部開放授業の戦略的授業編成とあり方の検討
- ④サテライトを活用した高大連携の推進
- ⑤サテライトの広報戦略（メディア連携、紙媒体、口コミ、実績による認知）

2011年度もサテライト事業の展開・企画遂行、地域連携事業が多岐にわたり、さまざまな成果と課題もあったが、もちろんのことながらオフィススタッフだけでは達成されるものではなかった。これもひとえに受講生の皆さん、地域の皆さん、学内の皆さん、関係者の皆さん支えがあったことである。皆様に厚く御礼を申し上げます。

和歌山大学南紀熊野サテライト

## **【1】 高等教育部門／主催講座関係**



## 1-1 高等教育（大学院・学部授業）関係

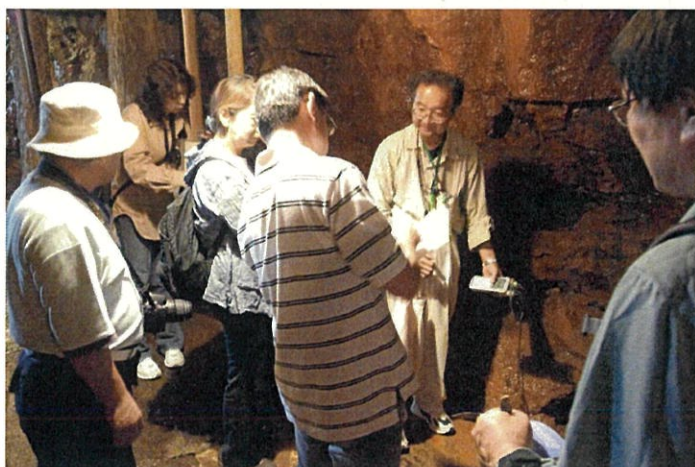
①学院受講者 6 科目延べ 32 名（修士課程含む）、学部受講者 4 科目延べ 36 名、研究指導 2 名。

<平成23年度紀南サテライト受講生申請状況一覧>

区分	開設	授業科目名	担当教員	担当学部	受講者数			合計
					サテライト	修士課程	高校生	
大学院	前期	農村漁村探訪 一和歌山の「今」と活性化	湯崎	経済	4	2		6
		社会、経済と企業の統計分析	大井	観光	2	2		4
		歴史的都市の研究法	水田	教育	3	2		5
	後期	紀伊半島学Ⅰ	井伊・和田・吉田・江種・吉野・村川	シス工	4	1		5
		観光の現状と課題	青木	観光	4	1		5
		アジア経済の最新動向	李・柳・岡部	経済	5	2		7
					合計			32

区分	開設	授業科目名	担当教員	担当学部	受講者数			合計
					サテライト	本学より	高校生	
学部	前期	上方落語論	恩田	経済	16	0	0	16
		身の回りのデジタル機器のしくみ	菊池・鈴木・沼田・藤垣・野村・土谷	シス工	7	1	0	8
	後期	統計で社会を考える	大井	観光	2	0	0	2
		日本の歴史地理	長谷・水田	教育	11	0	0	11
					合計			36

総合計	68
-----	----



「紀伊半島学Ⅰ」フィールドワーク



上方落語論授業風景



- ②本科生1名が研究指導、修士論文執筆を経て修士課程を修了。
- ③大学院科目の過半数で現地フィールドワークを実施。現場での学びを重視する科目の開設。学部科目についても現地フィールドワークを実施
- ④中国山東大学の教授（経済学院）とサテライト受講生（大学院）による交流、日中問題についての意見交換を実施。
- ⑤サテライト同窓会新役員の発足の支援と紹介を兼ねた交流会を実施

日時：2012年3月31日（土）18:00～20:00 田辺市内にて 参加者17名



サテライト同窓会の交流

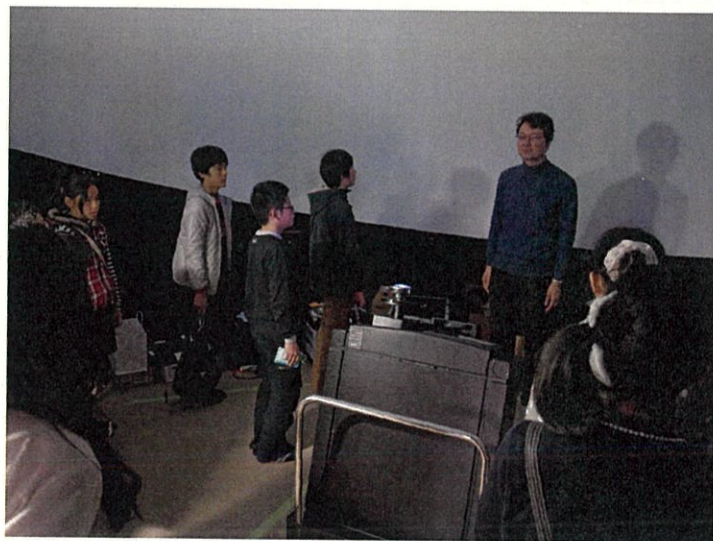


山東大学経済学院の教授と交流（正面真中）

- ⑥再リニューアルした募集チラシ、FM t anabe、紀伊民報、日高新報を通じた広報を実施
- ⑦南紀熊野サテライト大学院進学相談会を実施
- ⑧喫緊の地域課題に対応した学部授業編成の実現（「災害と復興を考える」の次年度開設）

## 1-2 大学広報・情報提供関係

- ①入学者選抜要項・教員免許状更新講習案内の提供・相談対応（担当部局へのコーディネート）
- ②「生涯学習ニュース」に南紀熊野サテライトコーナー（サテライト通信）を引き続き設置
- ③本学広報室と連携して紙媒体・本学ホームページを通じた広報を実施。今年度はアブニールの「自治体首長とのクロストーク」にサテライトとしても参画。第一弾の真砂田辺市長、第二弾の寺本那智勝浦町長の特集では、地域と大学の連携状況の説明、サテライトと地域の取り組みを紹介しながら対談を実施。
- ④田辺市立上芳養小学校「卒業遠足」による本学訪問をコーディネート



尾久土先生に質問する上芳養小生



アブニール・地域から見た和歌山大学（田辺市長編）



### 1-3 主催講座・発表会関係

#### ①和歌山大学南紀熊野サテライト連携協議会公開講座「災害と復興～これからの減災を考える～」&受講生募集説明会の実施

日時：平成24年2月19日（日） 14:00～15:45 Big・U研修室1 参加25名。

内容：説明会／平成24年度南紀熊野サテライト受講生募集説明会

講演／「災害と復興 ～これからの減災を考える～」 照本清峰和歌山大学防災研究教育センター特任准教授

紹介／次年度学部授業「災害と復興を考える」の概要紹介



大泉サテライト長による説明会



照本特任准教授による講演

#### ②和歌山大学南紀熊野サテライト修士論文発表会&講演会・シンポジウム

日時：平成24年3月31日（土） 14:00～16:00 Big・U研修室4 参加29名。

内容：①修士論文発表・担当教員講評

発表者：山崎政彦氏「和歌山県土地開発公社の不良債権と和歌山県財政に関する研究」

担当教員講評：大泉英次経済学部教授

②記念講演 「自治体財政分析のススメ」 経済学部准教授中島正博氏



修士論文発表風景



記念講演会風景

### 1-4 本学授業や学生との連携・支援

#### ①本学学生の南紀熊野フィールドワーク（田辺、那智勝浦）、イベント企画などの相談や調整、教員とのコーディネート等を実施

#### ②こどもの日「出張・土曜楽校」をビッグユウの企画と連携する形で実施



③和歌山大学型グリーンイノベーション創造プログラム・南紀熊野地域資源利活用研究 農山村型低炭素社会の実証プロジェクト「低炭素技術の活用に対するスキルアップ講座」の現地運営、受講者統括・対応等コーディネート実施



北海道大学和歌山演習林（古座川町平井）での学習風景

④現物教育プロジェクト（4つのプロジェクト）に関わる調査研究のサポート全般実施（古座川、太地、那智勝浦、田辺の学生フィールドワーク、キーパーソン紹介、教員対応など）

和大学生なら南紀熊野で学べ！「現物教育プロジェクト成果報告会」

平成24年3月31日（金） 10:00～13:30 Big・U研修室4 参加30名

- 1) 「古座川の体験から学ぶ」
- 2) 「捕鯨問題の現実～イルカ・クジラと人間～ から地域歴史研究への展開」
- 3) 「龍神で地域の素材の教材化に取り組む！」
- 4) 「熊野地域をフィールドとした災害時孤立集落向け災害情報システムの実証実験」



成果報告会の風景（学生発表）



会場議論風景

⑤学生自主サークル「梅酒研修会」による梅生産・収穫現場体験のコーディネート実施



梅の選果現場



農家の方から話を伺う

1-5 大学同窓会組織との連携

- ①地域OB・OG同窓会の交流会実施支援 11月26日に学部を超えた懇親会の開催（田辺市内）  
今後、地域同窓会の設立を目指し、議論と学部同窓会間の交流を推進



## 【2】地域研究・生涯学習部門

## 2-1 地域研究関係

- ①独創的研究支援プロジェクト「地域を支え、地域に支えられる大学づくりプロジェクト（旧地域貢献機能充実を図るためのプロジェクト事業）」での地域ニーズの把握（地域からの提案→学内コーディネート）
- ②地域貢献機能充実を図るためのプロジェクト事業「民産官学による地域公共交通の効率的構築・維持に向けた実践的活動と地域貢献機能の充実」への参画。サテライトでは新宮市熊野川町、田辺市三川地区、白浜町全域の調査研究・実践を主担当。今年度で報告書「白浜町生活交通ネットワーク計画」が完成
- ③独創的研究支援プロジェクト／地域を支え、地域に支えられる大学づくりプロジェクト「和歌山県におけるジオツーリズム自然教育価値創造事業」に参画



白浜町交通計画策定委員会風景



地域懇談会（勉強会）

## 2-2 生涯学習関係／講座・セミナー

- ①なまけん会南紀熊野の定点・定時開催継続実施  
住民、県教委、市教委、市役所、大学、NPO、公民館関係者平均10名参加。今年度は7回開催。
- ②生涯学習“繋”パーソンネットワーク事業（県教委—地域連携・生涯学習センターの連携事業）への参画（西牟婁エリアと東牟婁エリアの2地区担当 「防災 ～それぞれの9.4を語る～」）



なまけん会南紀熊野風景



繋パーソン事業「それぞれの9.4を語る」

- ③マナビスト支援セミナー企画ゼミの後方支援（今年度は「防災」がテーマ）
- ④地域生涯学習事業開発プロジェクト参画／第10回地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナー「新しい公共と地域の未来 災害に立ち向かう大学」（主催：地域連携・生涯学習センター）参画  
日時：2012年3月10日（土）新宮市福祉センター 参加者約50名



⑤第33回全国国立大学生涯学習系センター研究協議会への参加（北海道教育大学）

⑥田辺市生涯学習推進計画（田辺市教育委員会・旧生涯学習教育研究センター）に基づく田辺市まちづくり市民カレッジ企画委員・企画協力開催（全7回の企画運営参画）、生涯学習振興大会、社会教育委員会議等への参画



まちづくり市民カレッジ風景

### 2-3 学内事業との連携

- ①特別支援教育コーディネーターフォーラムの遠隔開催をサポート（和大本学→Big・U通信）今年度は5回開催
- ②「わかやま学講座」（高等教育機関コンソーシアム和歌山）企画提案事業南紀熊野地域説明会／審査会（地域生涯センター）の実施
- ③わかやま学講座「あがらの地域を何とかしよら」（田辺市中辺路町近露 NPO熊野古道に花と愛）企画実施支援
- ④和歌山大学運営発展課題の研究調査報告会に報告者として登壇「サテライトキャンパス・自治体連携」（地域生涯セ・岸和田サテ・まちかどサテ合同）。事前行動計画の策定やサテライトを通じた高大連携推進を提言。

### **【3】 地域連携・産官学連携部門／地域からの相談**



### 3-1 きのくに活性化センター／旧田辺市町村広域圏健康・観光産業クラスター推進協議会との連携

- ①きのくに活性化センター企画運営委員会への参画（企画運営委員）
- ②田辺市・中心市街地活性化事業（たなべえバル、マップ製作など）への参画
- ③“熊野”癒し・怪し・蘇りの地活用事業（ガイナ・だるだるプロデュース、田辺市内妖怪まちあるきツアー事業等）への参画
- ④伝統文化ブラッシュアップ事業研究会（わかやま産業振興財団助成事業）を主宰し、「めはりずし」をベースとした新・郷土食開発に向けた異業種研究会の運営と企画を実施。
- ⑤地域イベントへの参画（U遊祭等）
- ⑥日常の情報交換・プロジェクトでの協力・連携

### 3-2 大学と地域の連携・協働推進

- ①秋津野地域づくり学校（株式会社農業法人秋津野）への参画（運営委員）
- ②紀南経済研究会の研究事業の相談
- ③NPOのマネジメント相談・事業の相談対応、田辺市市民活動センター等運営への協力（事業、企画など）
- ④たなべ梅サンド開発委員会へのサポート（商工会議所）
- ⑤東日本大震災救援支援事業「支える人を支えるネットワーク」の「支える基金」の参画
- ⑥わかやまNPOセンター「社会起業家ネットワーク交流会」への参画
- ⑦田辺市企画広報課「田辺市における新エネルギー計画」に向けた相談と教員のコーディネート
- ⑧田辺市青少年育成市民会議講演会の講師などにおいて、教員をコーディネート
- ⑨「まちびと学会」（2011年6月18～19日 潮岬青少年自然の家で開催）への参画と報告する地域団体のコーディネート
- ⑩市民ファンド集合研修（全国のNPO支援組織 仙台から沖縄までの団体9団体）の現地コーディネート
- ⑪内閣府「世界青年の船」事業の地方プログラム（上富田町）トルコ、バーレーン、本学学生等との意見交換会ファシリテーターのコーディネート
- ⑫その他、地域（行政、各種団体、事業者等）からの相談対応、事業協力など



地域づくり学校開校式



トルコ・バーレーン・和大学生との交流

### 3-3 大学間連携

- ①地域型大学サテライト拠点情報交換会の継続的発展戦略の検討と実施。2012年7月「地域と大学を繋ぐコーディネーターのための研究実践セミナー」（地域と大学を繋ぐコーディネーターネットワーク構築事業）として位置づけ、実施へ

## **【4】台風12号対策（本学対策本部分室の活動）**



- ① 本学東日本大震災・紀伊半島豪雨災害支援対策本部の分室として南紀熊野サテライトが位置づけ（9月14日）。現地の行政・災害ボランティアセンターと連携しながら情報収集や大学へのニーズ調査を実施。この間、現地の状況調査、関連団体への救援物資搬送、水の確保要請への対処、市民救援団体の現地入りコーディネート、サテライト受講生の安否確認と教務手続等に対する配慮を要請した。叶わなかったが、現地の大学ニーズに対する「個別災害課題研究支援」について提案を取りまとめた。
- ② 学生ボランティア団体「Forward」の写真修復プロジェクトの後方支援を実施（部屋、物品の貸し出し、活動スペースの提供、キーパーソンの紹介など）
- ③ 「Forward」写真修復プロジェクトで修復された写真の返却拠点窓口として、「しんぐう元気フェスタ ‘12 くまのがわ」の南紀熊野サテライトブースを提供



「しんぐう元気フェスタ ‘12 くまのがわ」における Forward の写真返却作業風景

- ④ 災害対策研究支援調査事業「災害時におけるボランティアの組織化とあり方に関する研究 ～台風12号災害における地域の災害ボランティアの動向を通じて～」への参画（研究分担者）
- ⑤ 災害対策研究支援調査事業「インターネットを利用した平成23年度台風12号災害情報のデジタルアーカイブ化」（シス工・江種先生）への参画（研究協力者）
- ⑥ 災害対策研究支援調査事業「台風12号災害発生後の孤立集落の対応課題に関する研究」（防災セ・照本先生）を通じた東日本大震災被災地への視察とヒアリング訪問。東日本大震災被災地での復興過程を把握し、今後の台風12号災害の復興、来るべき南海地震への対応の参考とするため。これらの成果と、先般の学内運営発展課題研究とセットにした成果や提言を大学に実施



岩手大学三陸復興推進本部釜石サテライト訪問



⑦上記以外の災害対策研究支援調査事業の後方支援

⑧2012年度サテライト学部科目として「災害と復興を考える」の開講。

⑨「湯浅誠×藤藪庸トークセッション 共に生きる⇨脱貧困と社会的包摂 災害との地域づくりを考える」企画の協働プロデュース（近畿労働金庫・わかやまNPOセンター・本学地域創造支援機構共催）と湯浅誠内閣府参与（当時）を被災地へアテンドし、復興のキーパーソンと円卓会議を実施し、ネットワークを構築する。



トークセッション風景



地域の方々と復興に向けた円卓会議

⑩和歌山県教委・西牟婁教育支援事務所の要請で、島根県から台風12号被災地へ慰問（ケーキの配布）を希望する村松憲さんの現地受け入れコーディネートと現場運営対応を実施した（11月6日）。



熊野川小学校を訪問する村松憲さん



## 【5】ガバナンス・運営／地域課題解決に向けて

#### 【4】ガバナンス・運営／地域課題解決に向けて

##### 4-1 南紀熊野サテライトの運営強化に向けて

- ①平成22年度本学の業務実績に関する評価において、「地域型サテライト情報交換会」を通じた「大学と地域の関わり」について議論深化が評価されている。
- ②和歌山大学運営発展課題の研究調査としてサテライト機能を持つ大学、地域課題の共同研究の仕組みを持つ大学、地域と連携する学生教育を展開する大学、地域貢献の先進的の大学への視察を実施（長崎大学、北九州市立大学、秋田大学、岩手県立大学、岩手大学）

##### 4-2 南紀熊野サテライト視察の受け入れ

- ①金沢大学（大学院のシステム）、岩手大学（地域型サテライト）の視察受け入れ

##### 4-3 会議運営・他サテライトとの交流会

- ①オフィス会議、サテライト連絡会議、センター企画運営委員会、南紀熊野サテライト連携協議会総会・幹事会・企画運営会議などの会議事務局を担当

##### 4-4 和歌山大学の最前線拠点として

和歌山大学の最前線拠点・情報拠点として、大学案内・入試案内・各種情報提供を行うと共に、全学の南紀熊野地域拠点として事業への参画・連携、情報発信を行っています。



【1】高等教育部門・高校連携部門／主催講座関係

1-1 大学院授業関係

- ①大学院受講者6科目延べ54名、学部受講者4科目延べ43名、研究指導1名（内訳は別紙）
- ②後期募集要項をより親しみ易い募集案内にデザインをリニューアル。ポスターも新デザインに
- ③21年度向け募集チラシもリニューアル。これまでの授業科目や感想、雰囲気、サテライトの事業内容も掲載
- ④受講者ニーズ（アンケート・ヒアリング）に即した21年度カリキュラムの実現

1-2 大学情報提供関係

- ①入学者選抜要項の提供を開始・相談対応
- ②大学内各部局の広報誌を設置、広報スペースの拡大

1-3 主催講座・発表会関係

①修士論文中間発表会&紀南サテライト講演会

平成20年10月4日（土）13:00～15:00 Big・U研修室4 参加約10名。

発表：松下精二氏「田辺市における木質バイオマス利用の可能性 ～持続可能な地域社会の構築に向けて～」

同時開催：大西敏夫氏（大阪府立大学准教授）による講演「食料と環境問題を考える視点」を開催。後に、紀南サテライト大学院の院生募集説明会（参加4名・河音琢郎入試委員長）を開催。

②和歌山大学紀南サテライト公開講座「和歌山で文化を学ぶ！ ～上方落語論～」

（和歌山大学紀南サテライト連携協議会主催）

日時：平成21年3月7日（土）14:00～16:15 Big・U研修室1 参加約50名。

内容：紀南サテライト21年度受講生募集の説明会の後、恩田雅和先生（天満天神繁昌亭支配人・和歌山大学非常勤講師）による講演「繁昌亭と上方落語」+森乃石松氏による寄席。

③「橋本教授に感謝する会」（紀南サテライト同窓会と共催）

平成21年3月14日（土）18:00～21:00 秋津野ガルテン 参加者約40名

同窓会近況報告も兼ねて開催。上秋津の地域からの参加もいただく。

④修士論文発表会&記念講演・シンポジウム「木質バイオマスと地域づくり 岡山県真庭の事例と田辺の交流」

平成21年3月29日（日）14:00～17:00 Big・U研修室4 参加者26名

発表：松下精二氏「田辺市における木質バイオマス利用の可能性 ～持続可能な地域社会の構築に向けて～」

講演：仁枝章氏（21世紀の真庭塾事務局長）による講演「ネットワークと地域振興～21世紀の真庭塾の設立から木質資源活用産業クラスター構想へ～」を開催。

シンポ：「紀南地域における木質バイオマス活用と地域づくり」松下氏、仁枝氏が登壇。コーディネーターに中村太和先生

1-4 本学授業や学生との連携

- ①岸和田サテライト合同で学内向けサテライト情報掲示板を設置
- ②本学学生の紀南フィールドワーク（龍神、新宮）、イベント企画や教員とのコーディネートを実施

【2】地域研究・生涯学習部門

2-1 生涯学習関係／講座・セミナー

①なまけん会南紀熊野の定点・定時開催（世話人型で開催）

平成20年8月より毎月一回異業種連携の交流サロンを開催。平均15名の参加。住民、県教委、市教委、市役所、大学、NPO、公民館関係者の参加・協力を得ている

②平成20年度マナビスト支援セミナー企画ゼミ／生涯学習“繋”パーソンねっとわーく事業／学びねっとわーく事業（県教委・生涯学習教育研究センターの事業）への参画

③地域発展学習プログラムの開発と実施に関するセミナーin新宮の共催（生涯学習教育研究センターと共催）



日時：平成21年3月28日（土）13：30～16：30 新宮地域職業訓練センター 参加者約120名

内容：生涯学習と地域、学校、自治体、大学の連携のあり方と可能性について

- ④暮らしに身近な生活（金融・消費者・環境・食の安全）講座（県金融広報委員会・生涯学習教育研究センターとの共催）

日時：平成20年10月～21年1月にかけて計4日、8コマ。参加者は第一回（10/28）28名、第二回（11/9）33名、第三回（12/13）32名、第四回（1/10）33名。

## 2-2 地域研究関係

- ①日本ボランティア学会2009年度大会・龍神地域開催への協力（実行委員会型）

日時：平成21年6月27日（土）～28日（日） 龍神地域を中心に開催

### 【3】地域連携・産官学連携部門／地域からの相談

#### 3-1 きのくに活性化センターとの連携

- ①きのくに活性化センター企画運営委員会への出席・討議  
②白浜町椿ふるさとづくり策定／すさみ町あがら漁師の海来づくりプロジェクトへの参画、協力

#### 3-2 田辺市町村広域圏健康・観光産業クラスター推進協議会との連携

- ①日常の情報交換・プロジェクトでの協力・連携 ②平成21年度公開講座事業の受託・連携

#### 3-3 Big・Uの館内連携

- ①U遊祭への協力

日時：平成20年11月1日（土）～2日（日） Big・U全体

U遊祭27イベント企画のうち9企画をプロデュース・運営協力

- ②館内交通問題への協力（駐車場問題、高速バス誘致、コミュニティバスの検討など）

#### 3-4 大学と地域の協働推進

- ①上秋津地域づくり学校（株式会社農業法人秋津野）への参画  
②紀南経済研究会の研究事業の相談、協力、助成金申請にかかる相談  
③NPOのマネジメント相談・事業の相談対応、市民活動センター等運営への協力（広報、事業、企画など）  
④NPO法人熊野本宮と共催で「地域広報力向上セミナー」を実施  
⑤わかやま元気1万人フェスタ「紀南ブース」に展開のプロデュース（アート、情報、物産など）  
⑥その他、地域（行政、各種団体、事業者等）からの相談対応、事業協力など

#### 3-5 大学連携

- ①北海道大学との連携協議会開催（和歌山大学がホスト校／紀南サテライトは現地調整・協力など）

平成20年10月2日（木）～3日（金） Big・U／白浜・田辺 3日は海上エコツアー

### 【4】ガバナンス・運営／地域課題解決に向けて

#### 4-1 紀南サテライトニュースの発行

- ①本年度は発行準備にとどまる。新年度より発行へ

#### 4-2 紀南サテライトパンフレットの作成

- ①パンフレット発行中（別紙）。セールス時に活用。内容については21年度募集チラシにも活用

#### 4-3 他サテライトとの連携

- ①紀南・岸和田サテライト交流会の開催

紀南、岸和田、本学でそれぞれ開催。今年度は第五回開催（紀南1回、岸和田1回、本学3回）

#### 4-4 会議運営

- ①ほぼ毎月事務室会議を開催することで、現在の事業進捗などを共有  
②サテライト部企画運営委員会、和歌山県との検討会、紀南サテライト連携協議会などの会議への参画

#### 4-5 地域課題解決プロジェクト



①旧大塔村生活交通充実にに向けた市民参画・公民館型調査研究・実践プロジェクトの準備調整（4月より）

#### 4-6 和歌山大学の最前線拠点として

和歌山大学の最前線拠点・情報拠点として、大学案内・入試案内・各情報提供を行うと共に、全学の紀南拠点として事業への参画・連携、情報発信を行っています。